

施工例 6

第二体育館 国立代々木競技場 スーパーG-3000形

東京オリンピック(1964年)大会のバスケット会場として建築され、バスケットの殿堂・専用体育館として多くのドラマを刻んできました。近年では立地条件、施設規模から国際大会、全国大会のスポーツ大会をはじめ地域の大会まで、幅広い体育・スポーツ会場として多くの人々に利用されています。

○施工概要

名 称 / 国立代々木競技場 第二体育館
所在地 / 東京都渋谷区神南2-1-1

○メイン・アリーナ / 床面積: 1,300㎡ (33.2m×41m)

○仕上材 / アサダ・フローリング t24 捨張合板 t15

○下地材 / 根太: デッキプレートUA75×t1.2
大引: 角形鋼管100×100×3.2

○緩衝材 / 保護装置付緩衝材



施工例 7

宮城県総合体育館 (グランディ21) スーパーG-5000形

外観は2枚の葉っぱをもたれかけさせた形状で柔らかくスムーズなフォルムを表現し周囲との景観の調和を図っています。

国際大会をはじめとした国内外の大規模なスポーツ大会・幼児から高齢者まで、各種イベントやレクリエーションが楽しめる総合施設です。

○施工概要

名 称 / 宮城県総合体育館グランディ・21
所在地 / 宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1

○メイン・アリーナ / 床面積: 3,740㎡

○サブ・アリーナ / 床面積: 843㎡

○仕上材 / カナディアンメープル t26.2 捨張合板 t15

○下地材 / 根太: デッキプレート (カルマ) UA75×t1.6
大引: 角形鋼管100×100×3.2

○緩衝材 / 保護装置付緩衝材

